

九州観光推進機構 活動レポート

— 2012年2月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 1月のトピックス

○ 台湾・テレビ局(民視)を招請 (1月8日～16日:福岡、熊本、宮崎、鹿児島)

「GO GO Japan」などの日本旅行番組の制作・放映に実績がある台湾のテレビ局(民視)が個人旅行向けに新たに制作する「TOUCH JAPAN」の取材のため、スタッフ8人を招請し、飫肥、青島、指宿、桜島、熊本城、阿蘇、田主丸、門司港などでの撮影を行いました。

番組の放映は2月18日から4週に分けて行われ、レポーター役の女性タレント2人(鍾欣怡さん・Albeeさん)が、各県から提供いただいた視聴者プレゼント用の景品を含め、九州の魅力を楽しく紹介します。

プロデューサーの許克中さんは、「九州の真・善・美を台湾の視聴者に伝えるよう全力を尽くす」と語っており、放映が今年3月の台北・鹿児島線の新規就航、台北・福岡線の増便と放映の時期となることもあり、台湾の個人旅行者の九州への注目度が一層高まることが期待されます。



○ 香港・テレビ番組「ジャパナビ」を招請 (1月8日～14日:福岡、熊本、鹿児島)

地上波再放送を含む週3回の放送枠を持つ、香港の日本旅行番組「J P T I M E T V・日語大放送(通称:ジャパナビ)」による九州新幹線利用を中心とする魅力的な九州の旅の取材のため、JR九州及び熊本県観光連盟、鹿児島県観光連盟と連携し、スタッフ5人を招請しました。

取材は「あそぼーい!」「指宿のたまて箱」などの観光列車をはじめ、熊本城、阿蘇、人吉、霧島、鹿児島、桜島、指宿、JR博多シティなどで行われ、1月29日から毎週日曜日、11回に分けて放送されます。



○ 九州オルレを最終視察 (1月15日～19日:佐賀、熊本、大分、鹿児島)

九州オルレは、九州のもつ雄大な自然と温泉、長い歳月を経て培われた文化と歴史を五感で楽しんでいただく道のことであり、このたび、社団法人九州オルレの理事長が九州オルレ第1弾コースを視察し、コースの最終チェックを行っていただきました。

九州オルレを通じて、韓国市場で人気のあるトレッキング層の九州への誘客が期待されます。



○ 「ひなの国九州フェスタ2012」を開催 (1月17日～29日:太宰府市)

今年2月から九州各地で始まる“九州のひなまつり”を広く知っていただくため、「ひなの国九州フェスタ2012」と題し、九州国立博物館1階エントランスホールにおいて、九州のひなまつり広域振興協議会11地区のひな人形、ポスターの展示を行いました。



ホールでは、DVD「ひなの国九州」の放映、ひなの国九州2012年度版パンフレット及び各地区のパンフレットの展示・配布を行い、“九州のひなまつり”への誘客を図りました。例年に比べて入場者数は多く、今後の九州への観光客の増加につながることを期待されます。

○ 中国・九州情報誌「南国風」を招請（1月24日～27日：福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎）

中国で九州の情報を専門に掲載している情報誌「南国風」のスタッフを招請し、九州各地で取材が行われました。

今回は「九州の郷土料理・麺料理」がテーマであることから、もつ鍋・神埼そうめん・長崎ちゃんぽん・地鶏・ふぐ料理など、各地の特色ある郷土料理を取り上げており、「食」を通じた九州の旅行意欲をさらに高めることが期待されます。



○ 「おもてなしフォーラム2012 in 九州」を開催（1月26日：福岡市）

当機構の主催（後援：九州運輸局・九州各県・九州経済連合会）により、「おもてなし」の重要性について理解を深めていただく「おもてなしフォーラム2012 in 九州」を開催しました。会場は観光業の経営・管理・接客等に携わる約250名の方々と満席となりました。

基調講演では、九州旅客鉄道株式会社代表取締役会長 石原進氏から「JR九州のサービス改善の取り組み」のテーマに、同社が2003年から実施している「新・感・動・作戦」等の取り組みについて、具体例を挙げてご講演いただきました。

その後、4つの分科会を開催し、参加者は希望する分科会において、おもてなしの視点に立った「マネジメント」「コーチング」「対話」「接客」等について学習しました。

参加者からは、「大変参考になった」「お客様と接する際に役立てたい」「職場でみんなに伝えて共有したい」などの数多くの貴重なご意見をいただきました。



○ 韓国・地方都市旅行会社等を招請（1月30日～2月3日：佐賀、熊本、大分、鹿児島）

韓国の大都市以外から九州に誘客するため、蔚山やテグ等の地方都市の旅行会社、メディア関係者等を対象にファムトリップを実施しました。韓国の地方都市への九州アピールとともに、九州オルレについては第一弾予定コースを視察していただき、今後の九州観光の新たな旅行商品の造成、九州への誘客につながることを期待されます。

○ 機構HP・プロ野球等「キャンプ情報」サイトをオープン（1月30日）

冬でも比較的温暖な九州では、2月からプロ野球、プロサッカー（Jリーグ）の春季キャンプが実施されています。当機構では、このようなキャンプの観戦客を誘致するため、機構HP「九州旅ネット」に宮崎、鹿児島、熊本、大分各県の「キャンプ情報」サイトをオープンし、最新のプロ春季キャンプ情報を発信しています。

<http://www.welcomekyushu.jp/camp/index.html>



○ 小学館取材に協力（1月）

小学館「和楽」特集「しあわせ和菓子名鑑」での九州のシュガーロードの取材に協力しました。

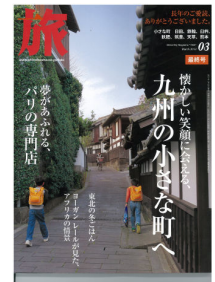
長崎の「カステラ」、諫早の「おこし」、小城の「羊羹」、佐賀の「丸ぼうろ」、福岡の「鶏卵素麺」、小倉の「栗饅頭」を取り上げていただき、1月12日発売の小学館「和楽」（8万部発行）で、観光施設とともに紹介されました。



○ 新潮社取材に協力（1月）

新潮社「旅」の特集として、九州各地（臼杵、天草、別府、日田、飫肥、熊本、田川、飯塚）の街並みとグルメ、観光施設を紹介する取材に協力しました。

1月20日発売の新潮社「旅」（5万部発行）で、各地の街並みに溶け込んだ魅力ある施設として紹介されたため、シックな内容の記事となり、ターゲットとする女性に九州が魅力あるエリアであることをアピールできました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 人事往来

本年2月1日付で事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

国内誘致推進部長 原田 弘司 [株式会社日本旅行]

○ 事務所移転について

当機構事務所は、3月26日（月）から福岡市渡辺通2丁目の電気ビル共創館に移転しますのでお知らせします。現事務所（天神1丁目）からの移転作業は3月23日（金）～25日（日）に行います。

（新事務所の所在地）福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル共創館7階

*TEL 092-751-2943 FAX 092-751-2944 の番号変更はありません。

○ 2月以降の主な予定

- ・中国・春秋航空就航に伴うマスコミ・旅行会社招請支援（2月1日～4日、8日～11日：九州各地）
- ・JNTO「インバウンド旅行振興フォーラム」参加（2月2日～3日：東京）
- ・中国・九州情報誌「南国風」招請（2月7日～10日：九州各地）
- ・インドネシア「ジャパントラベルフェスタ」出展（2月8日：ジャカルタ）
- ・「第5回九州観光ボランティアガイド大会 in おおいた」開催（2月9日～10日：大分）
- ・タイ「バンコクシスターシティウィーク」出展（2月9日～12日：バンコク）
- ・「九州・沖縄春の大観光展」開催（2月18日～19日：広島県安芸郡府中町）
- ・タイ「Thai International Travel Fair 2012及び商談会」出展（2月23日～26日：バンコク）
- ・シンガポール「NATAS及び商談会」出展（2月24日～27日：シンガポール）
- ・「第4回産学連携オープンセミナー in 福岡」開催（2月27日：福岡市）
- ・韓国・九州オルレコース発表会・視察に係る招請（2月28日～3月3日：九州各地）
- ・クルーズ関係旅行会社等招請（2月下旬～3月上旬：九州各地）
- ・中国「2012日本商品直送 in 中国」出展（3月2日～4日：上海市）

- ・2011年度「第3回評議員会」開催（3月8日：福岡市）
- ・シンガポール「九州観光説明会・商談会及び教育旅行セミナー」開催（3月9日～10日：シンガポール）
- ・中国・陝西省教育関係者招請（3月上旬：九州各地）
- ・2011年度「第3回理事会」開催（3月22日：福岡市）
- ・機構新事務所執務開始（3月26日）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL：092-751-2943 E-mail：info@welcomekyushu.jp